◆ 一般物性

試験項目	試験結果	試験条件
引っかき硬度	HB	JIS K5600 鉛筆法
鏡面光沢度	90以上	JIS K5600 入射角60度
耐屈曲性	合格	JIS K5600 円筒形マンドレル法、3㎜φ
耐おもり落下性	合格	JIS K5600 デュポン式、500g×50㎝
付着性	100/100	JIS K5600 クロスカット法　下地=フローン#11
摩耗質量	50mg	JIS K7204 テーバー式摩耗試験機 1000回転
耐カッピング性	合格	JIS K5600　7㎜
耐候性	異常なし	サンシャインウェザーメーター、1000時間
冷熱サイクル	異常なし	−20℃〜70℃(各1時間、10サイクル)
伸び率	150%	JISストログラフR型、23℃
引張強さ	8.1N/㎟	
引裂強さ	20.5N/㎜	
耐汚染性	良好	粒状カーボン浸漬

※試験結果は、弊社における試験に基づくもので保証値ではありません。

ご注意

■ 施工上のご注意

※「弾性トップ14」は、油性塗料やラッカーのように酸化重合または溶剤の揮発によって塗膜形成するものでなく、A液のポリイソシアネートとB液のアクリルポリオールとの間に化学反応を起こすことを利用した、無黄変の反応硬化型の塗料ですので下記の点について充分に注意して下さい。

1. 反応硬化型塗料ですから配合比は、A液:B液=1:4(重量比)の割合で正確に混合して下さい。(重量比を厳守)
   特に小分けにする時には、B液を必ず缶を逆さにしよく撹拌後、ハカリを使用し、正確に計量して下さい。
2. 希釈用シンナーは、専用のトップ14シンナーをご使用下さい。ラッカーシンナー等、アルコールを含むシンナーを使用しますと発泡、艶ひけ、硬化不良など性能が低下します。
3. 施工現場の下地条件、温湿度条件の差により施工法、硬化時間が異なります。
4. 既存塗膜面に異常（フクレ、キレツ等)がある場合は、弊社までご相談下さい。
5. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行なって下さい。

■ 取り扱い上のご注意

1. A液は湿気、水分等と反応硬化します。開缶したものは速やかに使用して下さい。
2. 施工時は、換気に充分注意し、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用して下さい。
3. 塗材が付着した場合は、速やかに洗い落として下さい。万一、目に入った場合は、多量の水でよく洗い、痛みのとれない場合は、医師の診察を受けて下さい。
4. 材料は、冷暗所に保管し、火気には充分注意して下さい。また、施工現場での保管は、雨などが当たらないようにし、外部の野積みは避けて下さい。
5. 施工後はよく手を洗い、充分にうがいをして下さい。
6. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。

引火性あり	警告	有害性あり
	1.可燃性の液体である。 2.健康に有害な物質を含有している。 3.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 4.蒸気を吸入すると人により喘息様症状を起こすことがある。	
業務用	<注意事項>　1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照ください。 ※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。	

●お問い合わせは・・・・・・

東日本塗料株式会社

ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得

本　　社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

URL https://www.hnt-net.co.jp

CATALOG NO.19 '24.12.3000

※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。
※このカタログは植物油インキを使用し、環境保全や大気汚染の低減に貢献しています。
※本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。

F★★★★

無鉛
艶有

2液アクリルウレタントップコート

弾性トップ14

トップコートの定番!

フローン防水材の機能を活かす保護仕上材

東日本塗料

2液アクリルウレタントップコート

弾性トップ14

◆ 特　　長

●150%の伸び率と優れた耐水性で防水層を保護し、劣化を防ぎます。
●耐候性が良く、耐汚染性に優れているので美観を保ちます。
●乾燥時間が短く、作業が容易です。

◆ 用　　途

■フローン防水材の保護仕上・トップコート

フローン#11　　フローン#11ローラー用
フローン#12　　フローン01 X
エコフローン#12　　フローン無機防水
フローン速乾110

■ウレタン防水材トップコートの塗り替え・美装

◆ 製品仕様

品　名	容　量			配合比		標準使用量 (kg/㎡)	塗装面積 (標準使用量の場合)	可使時間		上塗可能時間 (23℃)	歩行可能時間		乾燥時間(23℃)		外　観	
	A液	B液	セット	A液	B液			10℃	23℃		10℃	23℃	指触	完全硬化	A液	B液
弾性トップ14	3kg	12kg	15kg	1	4	0.2kg/㎡ (1回塗り)	75㎡	3時間	2時間	4時間～48時間	18時間以上	12時間以上	10分	7日間	透明粘稠液	着色粘稠液
	1kg	4kg	5kg				25㎡									
トップ14シンナー	16ℓ			希釈割合50%		0.1kg	15kgセットに対して7.5kg、5kgセットに対して2.5kg									
	4ℓ															

※試験結果は、弊社における試験に基づくもので保証値ではありません。

◆ 色　　相

●常備色（6色）

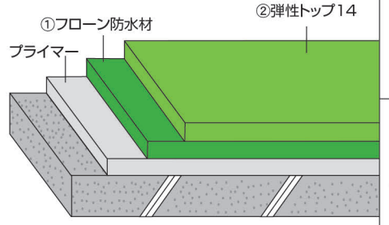
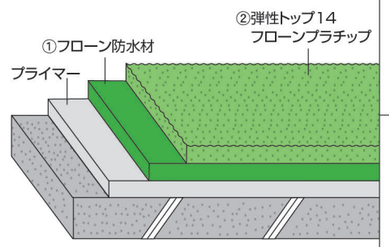
A-1	マスカットグリーン	A-4	フォックスグレー
A-2	エメラルドグリーン	A-5	サンドベージュ
A-3	フレッシュグリーン	A-6	スカーレットブラウン

●指定色

同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げてください。

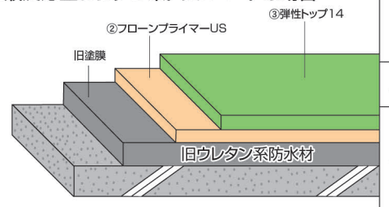
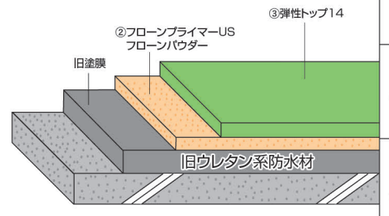
◆ 標準工法

●フローン防水材新設の保護仕上、トップコート

	工　法　名	工程	材　料　名	使用量 kg/㎡	上塗可能時間 (23℃)	備　　考
1		1	フローン防水材	(フローン#11　フローン#11ローラー用　フローン#12 エコフローン#12　フローン01X　フローン速乾110 フローン無機防水) それぞれの標準工法による施工　各カタログをご参照下さい。		
		2	弾性トップ14 トップ14シンナー	0.2 0.1	－	A液：B液＝1：4（重量比）の割合で計量、混合、トップ14シンナーで50%希釈し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
2	プラチップ仕上 	1	フローン防水材	(フローン#11　フローン#11ローラー用　フローン#12 エコフローン#12　フローン01X　フローン速乾110 フローン無機防水) それぞれの標準工法による施工　各カタログをご参照下さい。		
		2	弾性トップ14 フローンプラチップ ※ トップ14シンナー	0.2 0.01 0.1	－	A液：B液＝1：4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機で撹拌後フローンプラチップを5%計量、混合、トップ14シンナーで50%希釈し、電動撹拌機で充分に撹拌後中毛ローラー、ハケにて塗布。

※フローンプラチップLを用いるとフローン硅砂6号程度の仕上がりになります。フローンプラチップLを施工する場合は、必ずローラーネットを用いて均一になるように施工して下さい。

●ウレタン防水材トップコートの塗り替え

	工　法　名	工程	材　料　名	使用量 kg/㎡	上塗可能時間 (23℃)	備　　考
1	旧塗膜 2液反応型ウレタン系トップコートの場合 	1	素地調整	－	－	ゴミ、土等の異物及び密着不良塗膜は高圧水洗にて完全に除去する。 ※密着不良塗膜が残っている場合、ちぢれを生じる恐れがありますので完全に除去して下さい。
		2	フローンプライマーUS	0.15	3~24時間	原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		3	弾性トップ14 トップ14シンナー	0.2 0.1	－	A液：B液＝1：4（重量比）の割合で計量、混合、トップ14シンナーで50%希釈し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
2	旧塗膜 水系トップコートの場合 	1	素地調整	－	－	ゴミ、土等の異物及び密着不良塗膜は高圧水洗にて完全に除去する。 ※密着不良塗膜が残っている場合、ちぢれを生じる恐れがありますので完全に除去して下さい。
		2	フローンプライマーUS フローンパウダー	0.15 0.15	3~24時間	フローンプライマーUS：フローンパウダー＝1：1（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機で撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
		3	弾性トップ14 トップ14シンナー	0.2 0.1	－	A液：B液＝1：4（重量比）の割合で計量、混合、トップ14シンナーで50%希釈し、電動撹拌機で充分に撹拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

※プライマー塗布後、次工程までの間隔が2日以上（23℃）空いたり、雨に打たれた場合は再度フローンプライマーUSを塗布して下さい。